

# 花まつり おしゃか様のお誕生

おしゃか様は、今から約2500年前ヒマラヤの麓ふもとのネパールにあるルンビニーの花園で、4月8日に誕生されました。おしゃか様の誕生は、お母さまのマーヤさまが白い象の夢をみられたことからはじまります。ご出産で立ち寄られたルンビニーの花園で無憂樹むゆうじゆ（アソカ）の薫り高い美しい花を愛でておられた時、おしゃか様が誕生されました。あまりの喜びに、龍王りゆうおうさまが甘露かんろの雨を降らせ、その甘露の雨を産湯につかわれました。おしゃか様は、お生まれになり七歩歩かれて「天上天下唯我独尊てんじょうてんげゆいがどくそん」といわれたと伝えられています。

お誕生された4月8日を花まつりとしてお誕生をお祝いします。そこでは、白い象をひき、「花御堂」のおしゃか様に甘茶をそそぎます。

出典 幡谷淳信「お釈迦さまの御出世」『児童と宗教』5巻3号より、一部抜粋、現代語訳

リライト “サガエさん”こと佐賀枝夏文